

平成19年度第1回

かわさき市民アンケート 概要版

調査の概要	
調査設計等	●調査対象 川崎市在住の満20歳以上の男女個人 ●調査方法 郵送法
	●標本数 3,000 標本 ●調査期間 平成19年7月23日(月)～8月8日(水)
	●標本抽出 住民基本台帳及び外国人登録原票からの層化二段無作為抽出 ●有効回収数 1,447 標本 ●有効回収率 48.2%
調査項目	① 地球温暖化問題について ④ こども文化センターについて
	② ゴミの収集・減量・リサイクルについて ⑤ 町内会・自治会について
	③ 川崎市のおみやげについて ⑥ 文化・芸術について

※ 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。また、本文中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100%にならない場合がある。

調査回答者の属性

1 性別

	基数	構成比
1 男性	614	42.4%
2 女性	795	54.9%
(無回答)	38	2.6%
合計	1,447	100.0%

2 年齢・性／年齢

	全体		男性		女性		無回答	
	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比
1 20歳代	164	11.3%	63	10.3%	98	12.3%	3	7.9%
2 30歳代	301	20.8%	115	18.7%	184	23.1%	2	5.3%
3 40歳代	266	18.4%	113	18.4%	149	18.7%	4	10.5%
4 50歳代	268	18.5%	124	20.2%	143	18.0%	1	2.6%
5 60歳代	262	18.1%	117	19.1%	136	17.1%	9	23.7%
6 70歳以上	174	12.0%	81	13.2%	84	10.6%	9	23.7%
(無回答)	12	0.8%	1	0.2%	1	0.1%	10	26.3%
合計	1,447	100.0%	614	100.0%	795	100.0%	38	100.0%

1

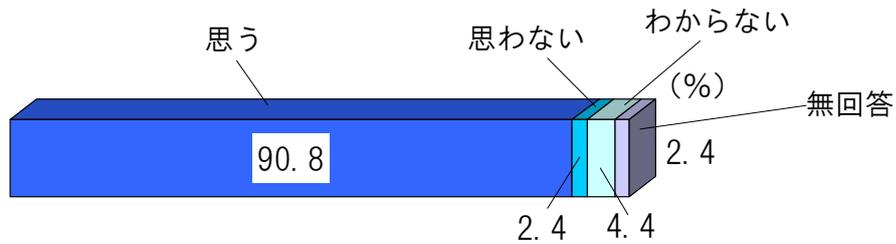
地球温暖化問題について

1 地球温暖化の実感度

現在、実感として地球温暖化が進んでいると思うかを聞いた。「思う」(90.8%)が約9割となっている。

図1

n = (1,447)

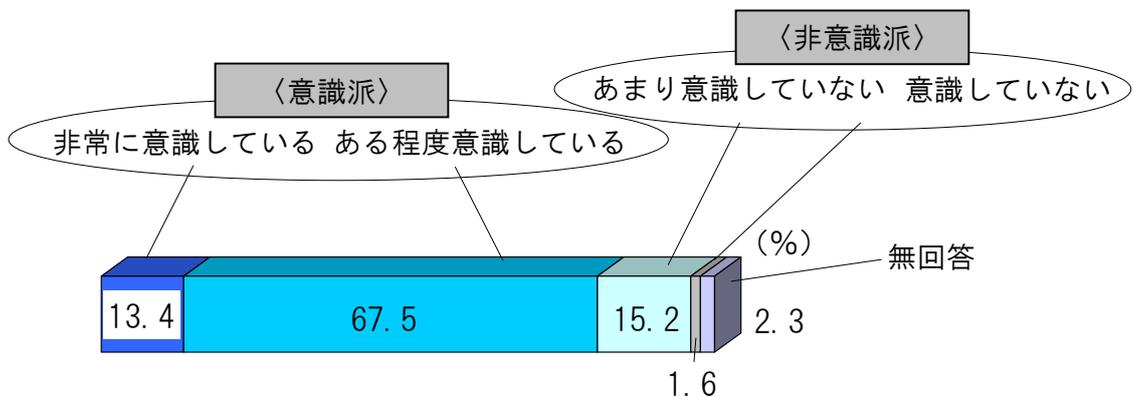


2 地球温暖化防止についての意識状況

日常生活の中で、地球温暖化防止について意識しているかを聞いた。「非常に意識している」(13.4%)と「ある程度意識している」(67.5%)をあわせた〈意識派〉は約8割となっている。一方、「あまり意識していない」(15.2%)と「意識していない」(1.6%)をあわせた〈非意識派〉は1割台半ばであった。

図2

n = (1,447)

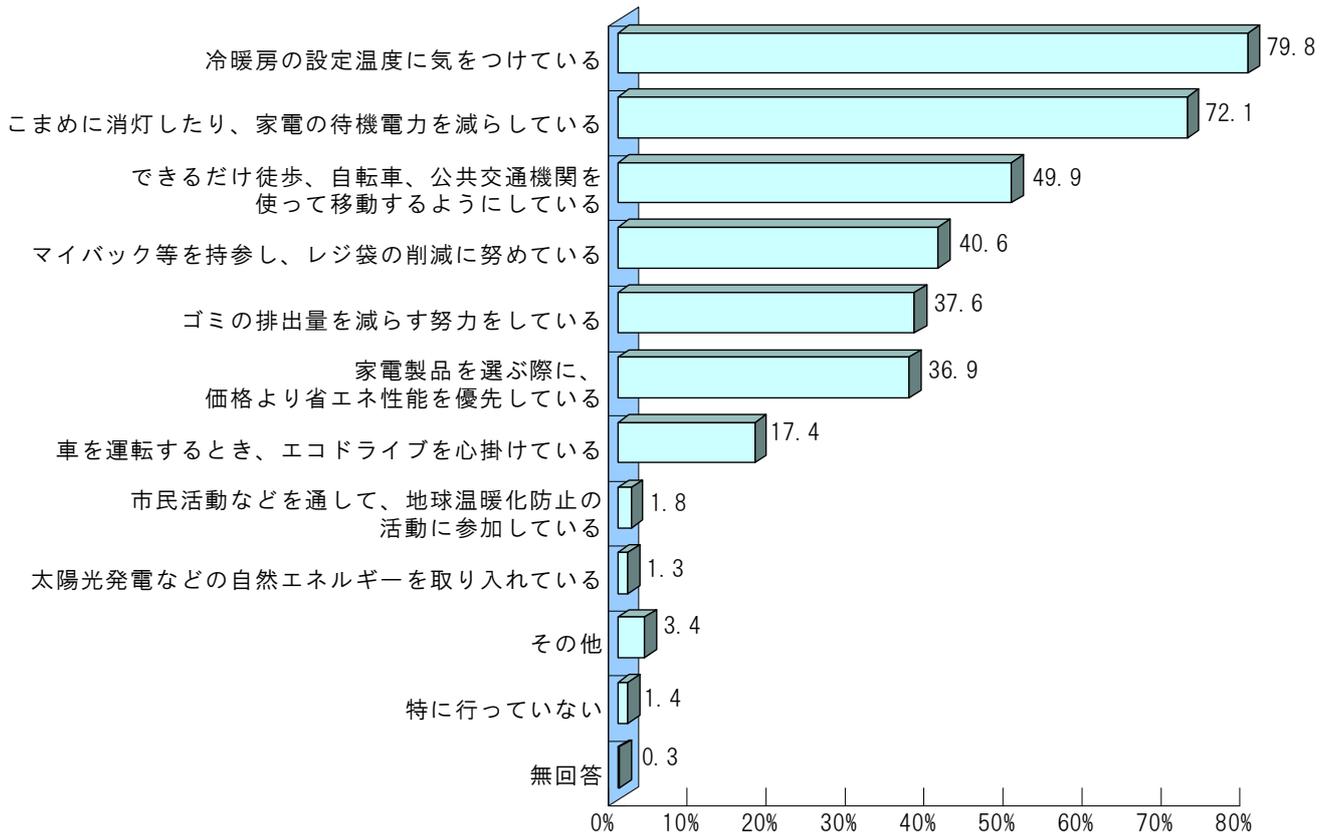


2- (1) 地球温暖化防止のためにやっていること

日常生活の中で、地球温暖化防止について「非常に意識している」または「ある程度意識している」と答えた方に、地球温暖化防止のために日常生活で行っていることを聞いた。「冷暖房の設定温度に気をつけている」(79.8%)が約8割、「こまめに消灯したり、家電の待機電力を減らしている」(72.1%)が約7割と高くなっている。次いで「できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動するようにしている」(49.9%)が約5割という順になっている。

図3

(複数回答) n = (1,171)

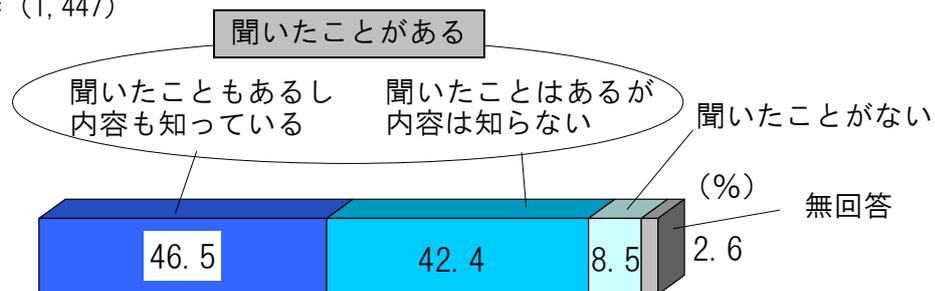


3 エコドライブの認知状況

エコドライブの認知状況を聞いた。「聞いたこともあるし内容も知っている」(46.5%)と「聞いたことはあるが内容は知らない」(42.4%)をあわせた〈聞いたことがある〉は9割近くとなっている。

図4

n = (1,447)



2 ごみの収集・減量・リサイクルについて

1 普通ごみ収集日変更の認知状況

普通ごみの収集日が変わることを事前に知っていたかを聞いた。「知っていた」(82.6%)が8割台半ばとなっている。一方、「知らなかった」(16.1%)は1割台半ばであった。

町内会・自治会への加入状況別でみると、加入している人は、87.4%が変更を事前に知っていた。一方、加入していない人は67.6%となっており、約2割の差があった。

図5

n = (1,447)

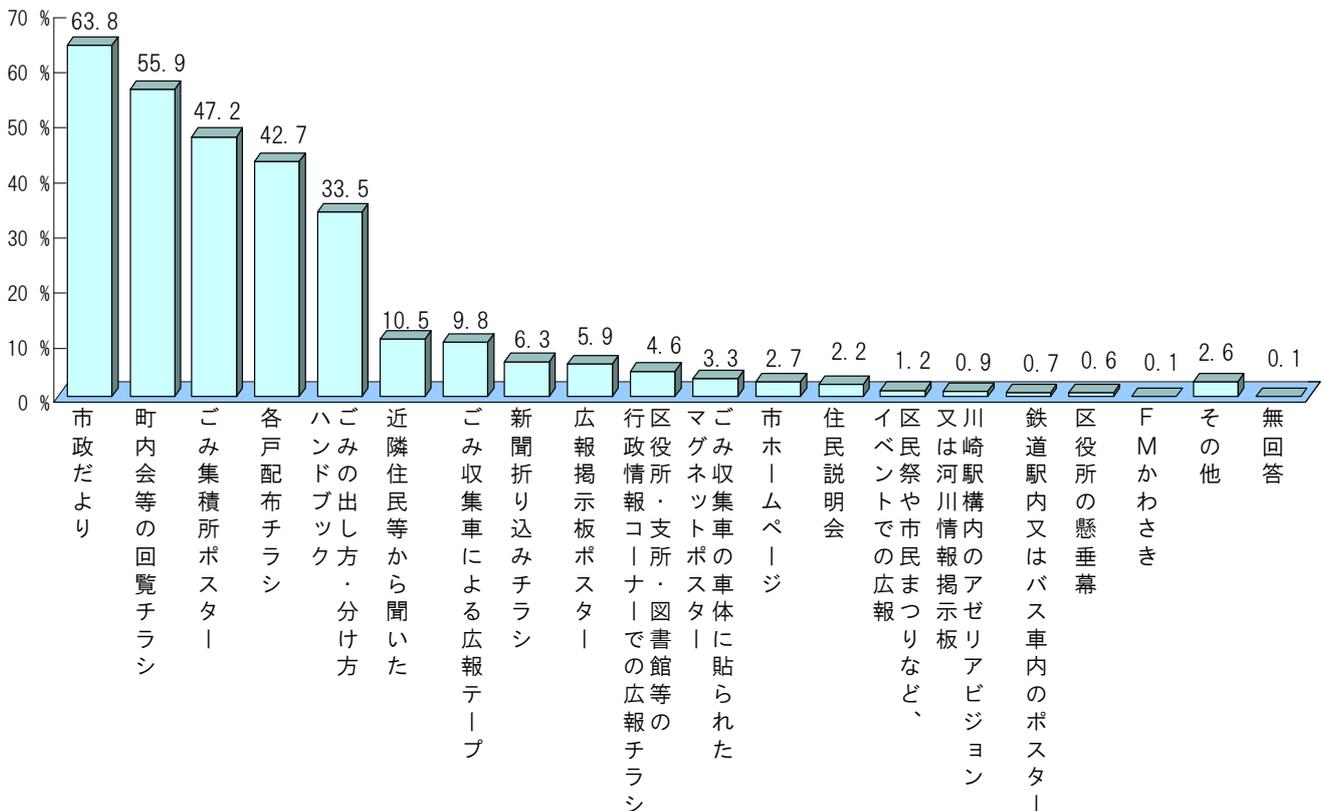


1- (1) 普通ごみ収集日変更の情報の取得元

普通ごみの収集日が変わることを事前に「知っていた」と答えた方に、どこで変更の情報を知ったかを聞いた。「市政だより」(63.8%)が6割台半ば、次いで「町内会等の回覧チラシ」(55.9%)が5割台半ば、「ごみ集積所ポスター」(47.2%)、「各戸配布チラシ」(42.7%)が4割台半ば、「ごみの出し方・分け方ハンドブック」(33.5%)が3割台半ばとなっており、他の項目は1割台以下となっている。

図6

(複数回答) n = (1,195)

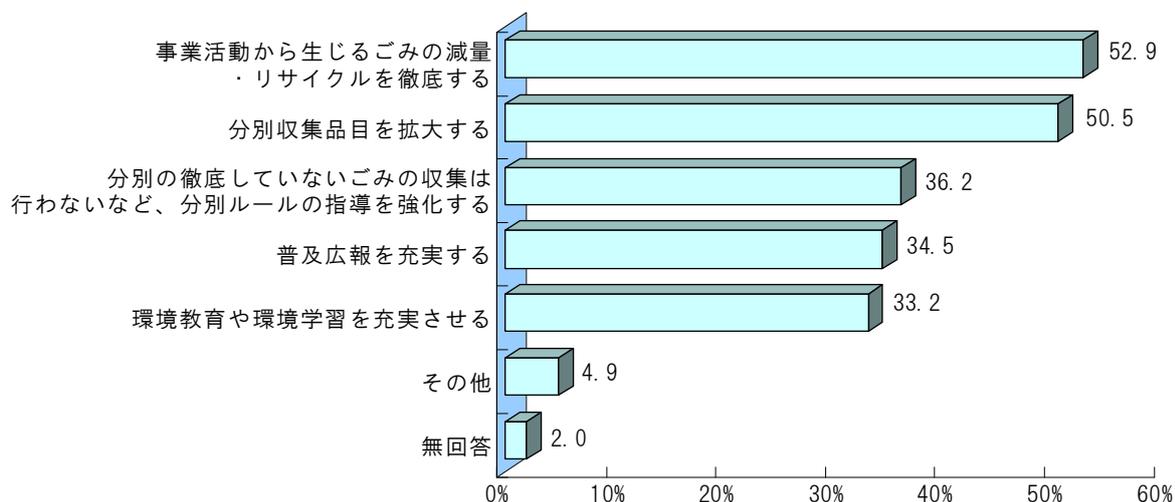


2 ごみの減量とリサイクルを進めていくために市が取り組むべきこと

ごみの減量とリサイクルを進めていくために、市はどのような取り組みを行うべきかを聞いた。「事業活動から生じるごみの減量・リサイクルを徹底する」(52.9%)、「分別収集品目を拡大する」(50.5%)が5割以上となっている。

図7

(複数回答) n = (1,447)

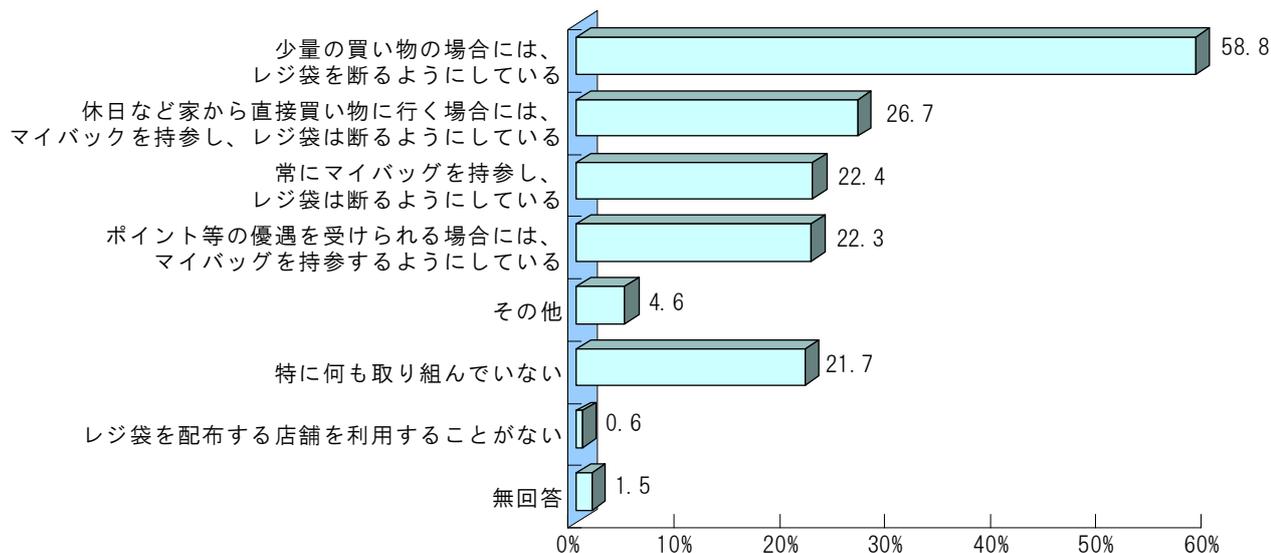


3 レジ袋の受取り時に行っていること

スーパーやコンビニエンスストアなどでのレジ袋の受取り時に行っていることを聞いた。「少量の買い物の場合には、レジ袋を断るようにしている」(58.8%)が6割近くで最も高く、他の項目は2割台となっており、「特に何も取り組んでいない」(21.7%)も2割台であった。

図8

(複数回答) n = (1,447)



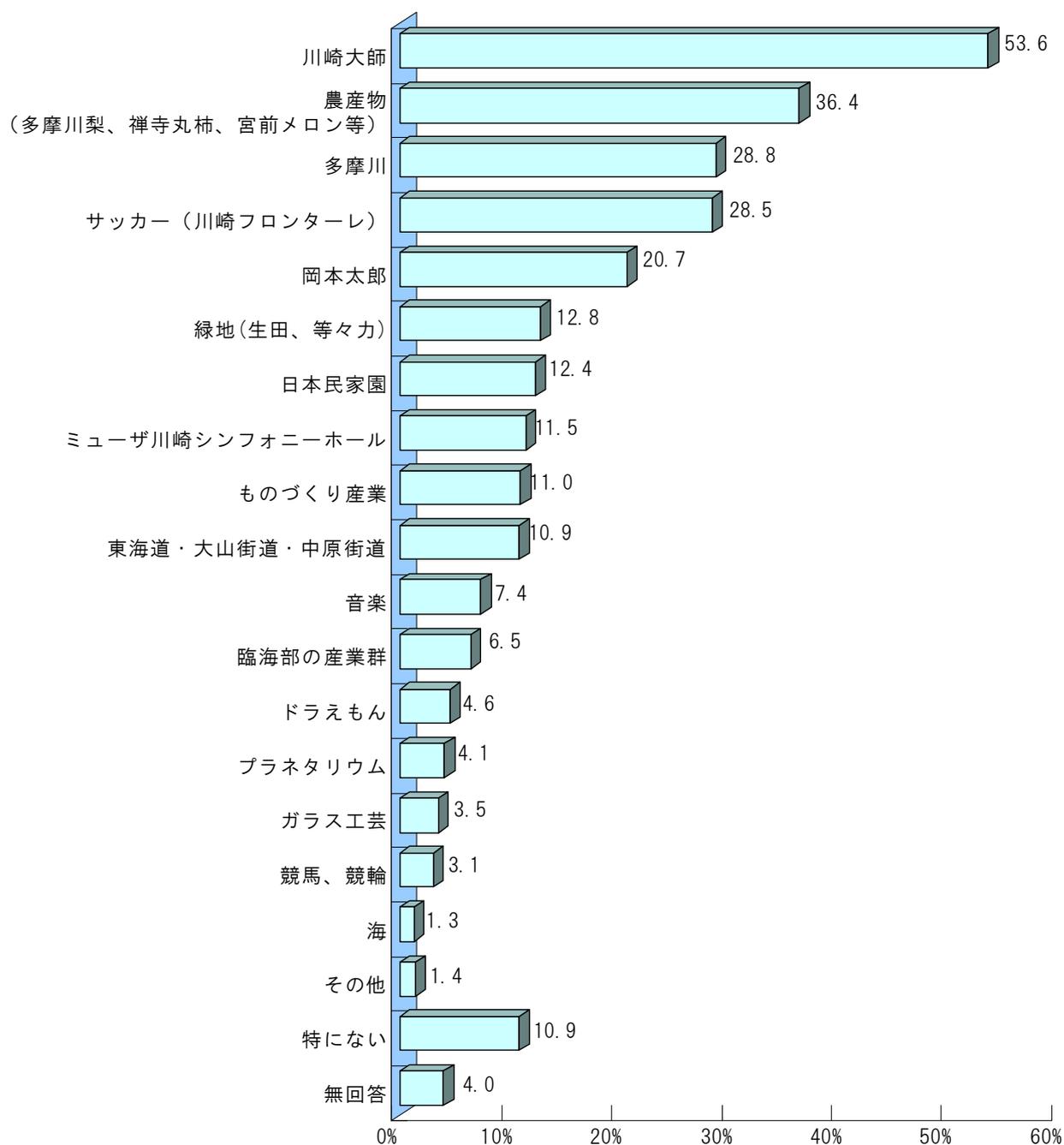
3 川崎市のおみやげについて

1 「川崎市のおみやげ」のテーマとしてふさわしいと思うもの

「川崎市のおみやげ」のテーマとしてふさわしいと思うものを聞いた。「川崎大師」(53.6%)が5割半ばで最も高くなっている。次いで「農産物(多摩川梨、禅寺丸柿、宮前メロン等)」(36.4%)が3割台半ば、「多摩川」(28.8%)、「サッカー(川崎フロンターレ)」(28.5%)が3割近くという順になっている。



(複数回答) n = (1,447)

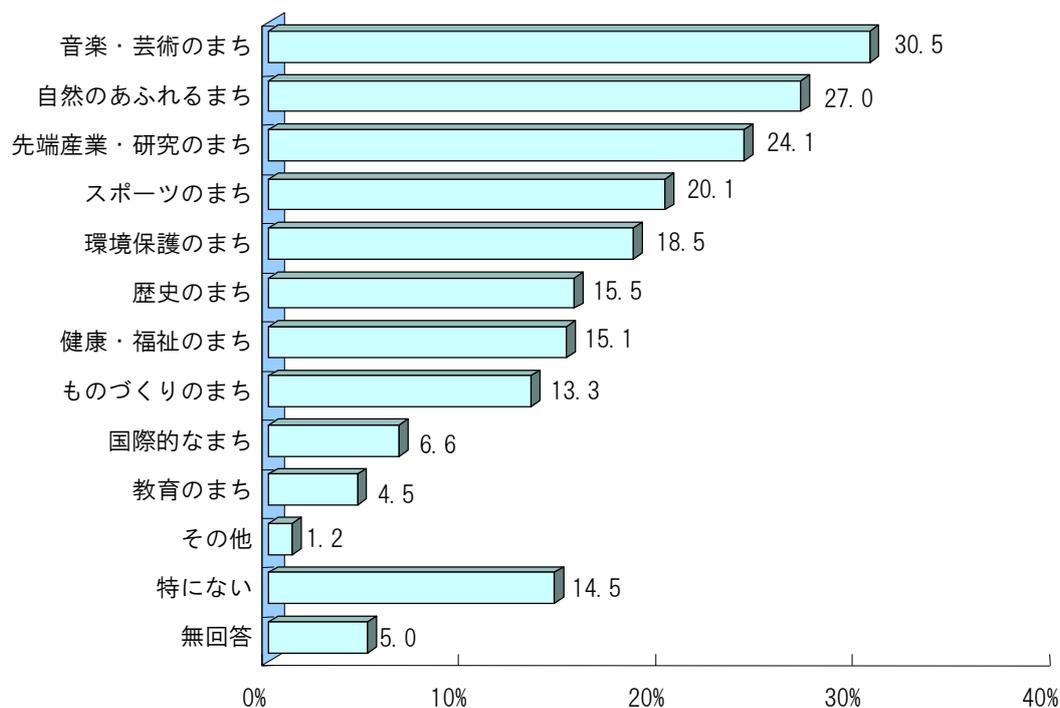


2 「川崎市のおみやげ」でアピールする将来の川崎市のイメージ

「川崎市のおみやげ」でアピールする将来の川崎市のイメージとしてふさわしいと思うものを聞いた。「音楽・芸術のまち」(30.5%)が約3割、次いで「自然のあふれるまち」(27.0%)、「先端産業・研究のまち」(24.1%)が2割台半ば、「スポーツのまち」(20.1%)が約2割という順になっている。

図10

(複数回答) n = (1,447)



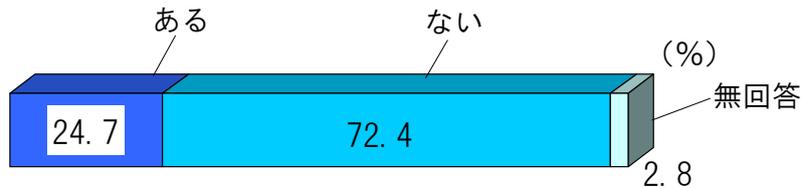
4 こども文化センターについて

1 こども文化センターの利用状況

こども文化センターを利用したことがあるかを聞いた。「ある」(24.7%)は2割台半ばで、4人に1人利用経験があった。

図11

n = (1, 447)

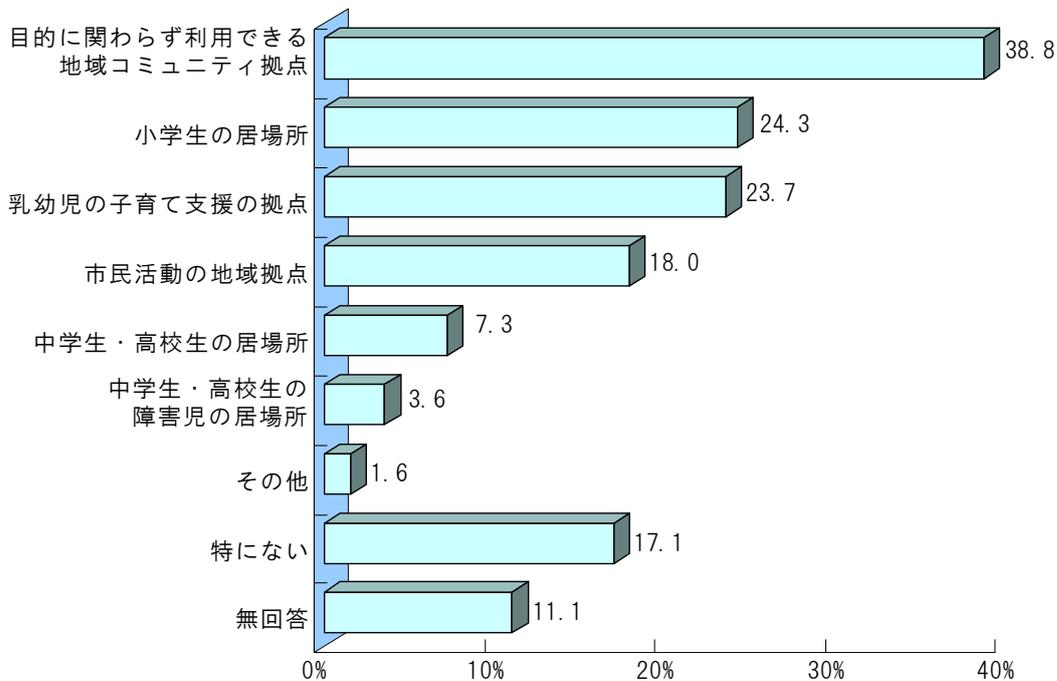


2 充実した方がよいと思う運営内容

こども文化センターの運営内容のうち充実した方がよいと思うものを聞いた。「目的に関わらず利用できる地域コミュニティ拠点」(38.8%)が4割近くで最も高くなっている。次いで「小学生の居場所」(24.3%)、「乳幼児の子育て支援の拠点」(23.7%)が2割台半ば、「市民活動の地域拠点」(18.0%)が2割近くという順になっている。

図12

(複数回答) n = (1, 447)



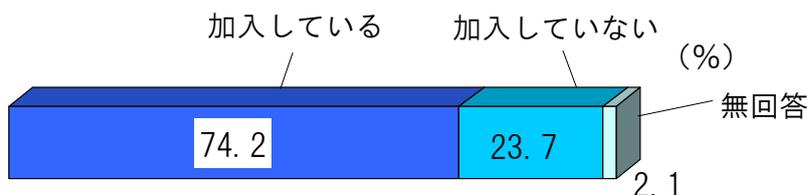
5 町内会・自治会について

1 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入しているかを聞いた。「加入している」(74.2%)が7割台半ばとなっている。

図13

n = (1,447)

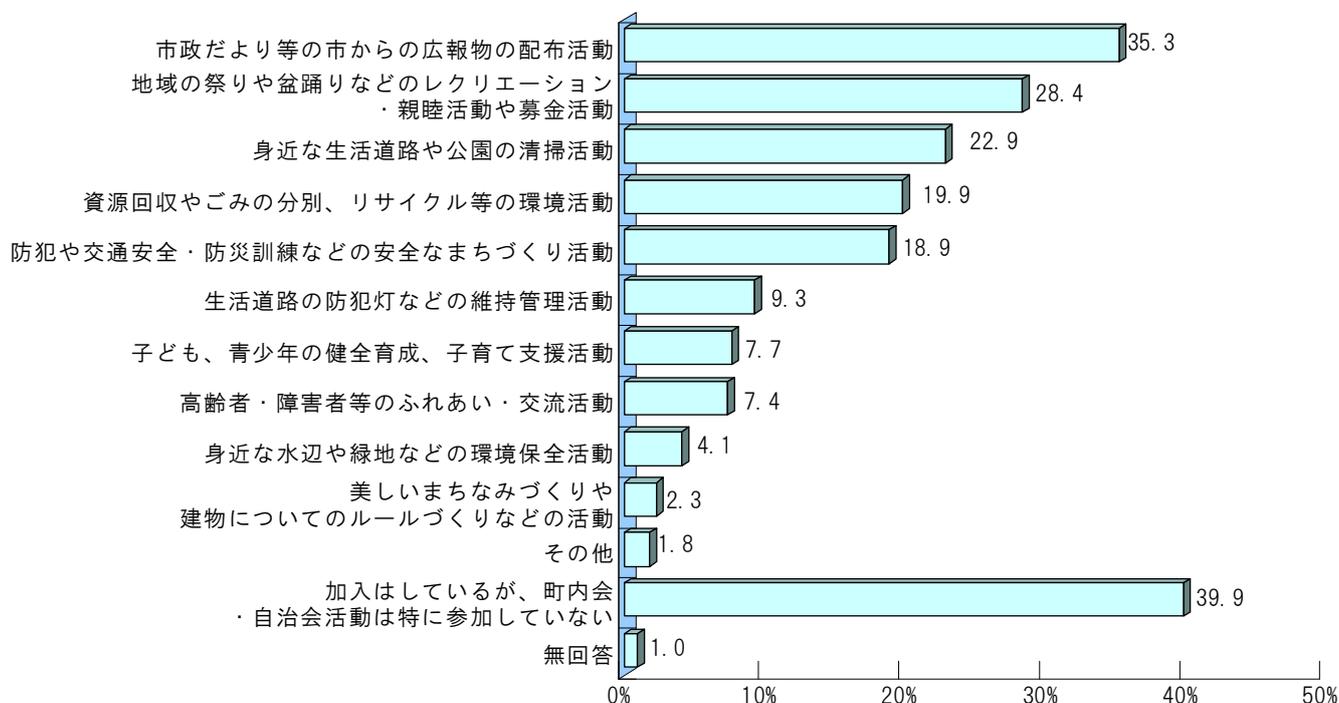


1- (1) スタッフとして参加している町内会・自治会の活動

町内会・自治会に「加入している」と答えた方に、町内会・自治会の活動の中で、スタッフとして参加している活動を聞いた。「市政だより等の市からの広報物の配布活動」(35.3%)が3割台半ば、次いで「地域の祭りや盆踊りなどのレクリエーション・親睦活動や募金活動」(28.4%)が3割近く、「身近な生活道路や公園の清掃活動」(22.9%)が2割台半ばという順になっている。一方、「加入はしているが、町内会・自治会活動は特に参加していない」(39.9%)は約4割と高い数値であった。

図14

(複数回答) n = (1,074)

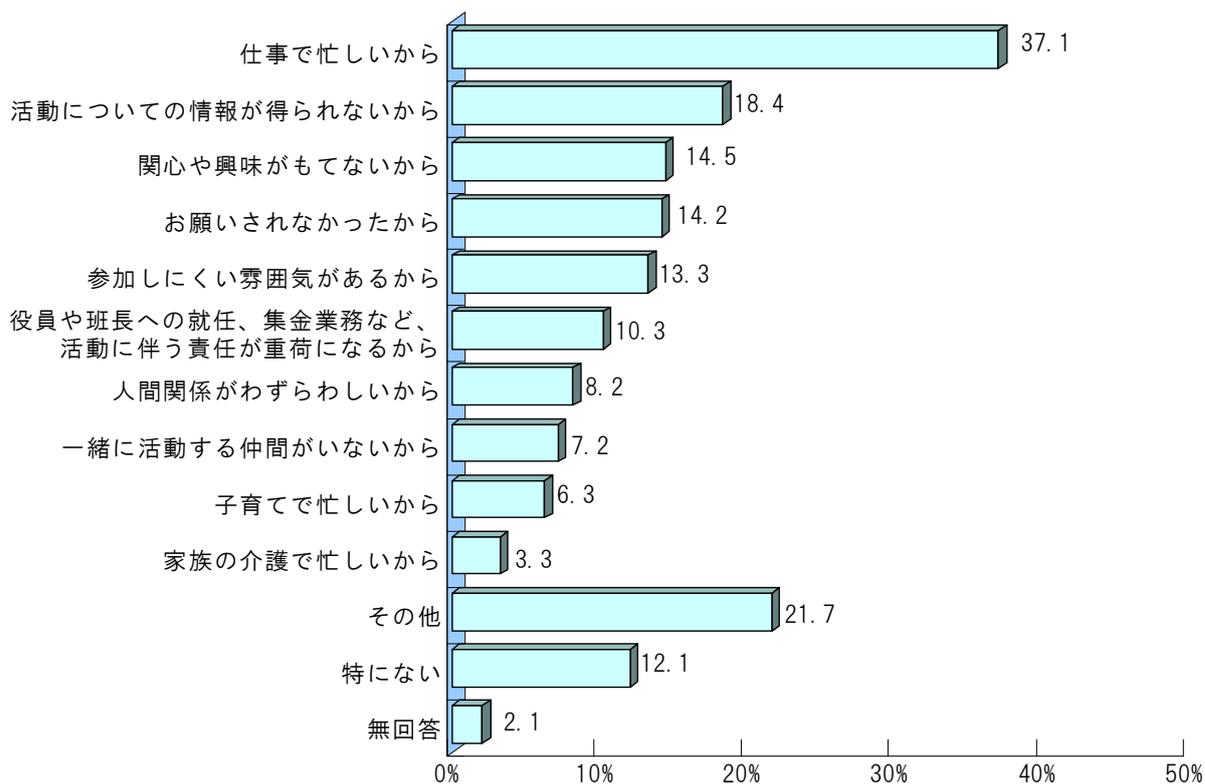


1- (1) -1 町内会・自治会活動に参加していない主な理由

町内会・自治会に「加入はしているが、町内会・自治会活動は特に参加していない」と答えた方に、参加していない主な理由を聞いた。「仕事で忙しいから」(37.1%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで「活動についての情報が得られないから」(18.4%)、「関心や興味がないから」(14.5%)、「お願いされなかったから」(14.2%)、「参加しにくい雰囲気があるから」(13.3%)という順になっている。

図15

(複数回答) n = (429)

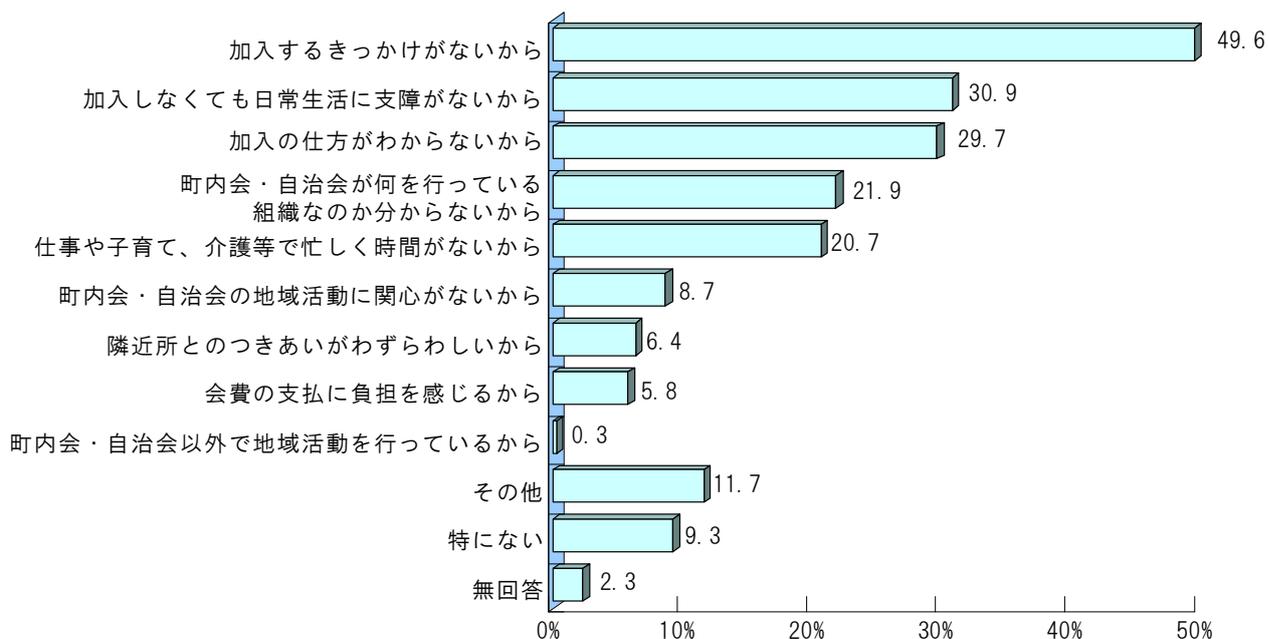


1- (2) 町内会・自治会に加入しない主な理由

町内会・自治会に「加入していない」と答えた方に、加入しない主な理由を聞いた。「加入するきっかけがないから」(49.6%)が約5割で最も高くなっている。次いで「加入しなくても日常生活に支障がないから」(30.9%)、「加入の仕方がわからないから」(29.7%)が約3割という順になっている。

図16

(複数回答) n = (343)

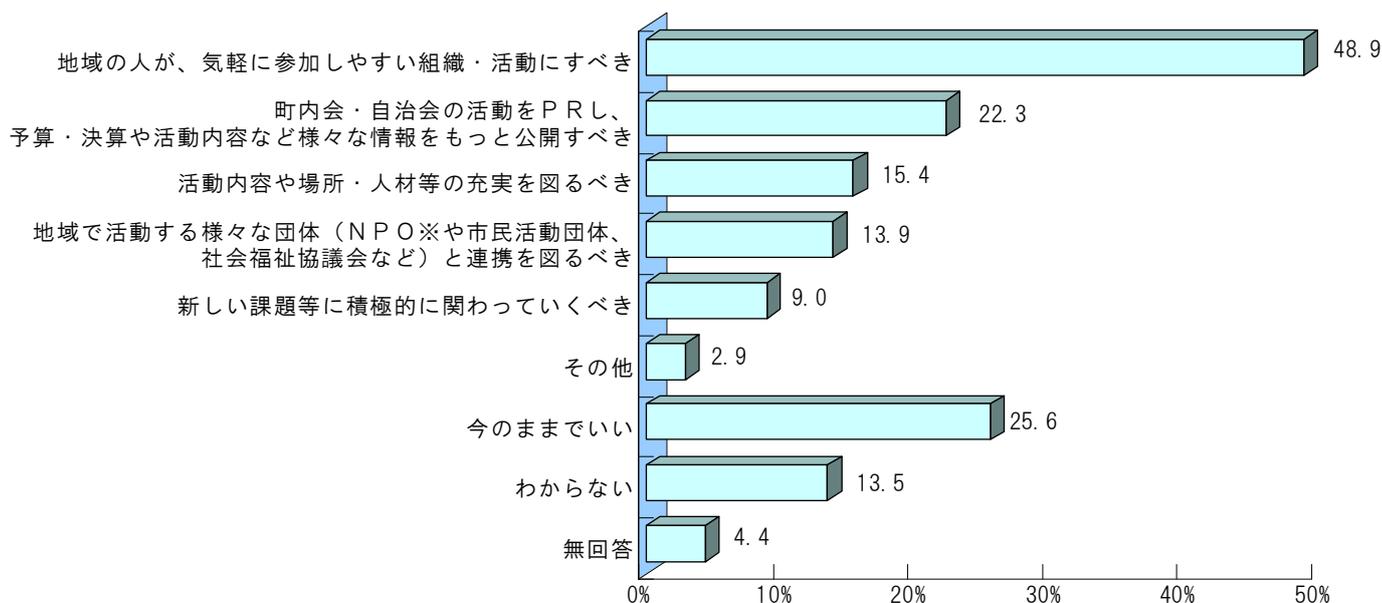


2 暮らしやすい地域づくりのために、町内会・自治会活動に期待すること

暮らしやすい地域づくりのために、町内会・自治会活動に期待することを聞いた。「地域の人
が、気軽に参加しやすい組織・活動にすべき」(48.9%)が5割近くで最も高くなっている。次
いで「町内会・自治会の活動をPRし、予算・決算や活動内容など様々な情報をもっと公開すべ
き」(22.3%)が約2割となっている。一方、「今のままでいい」(25.6%)は2割台半ばであっ
た。

図17

(複数回答) n = (1,447)



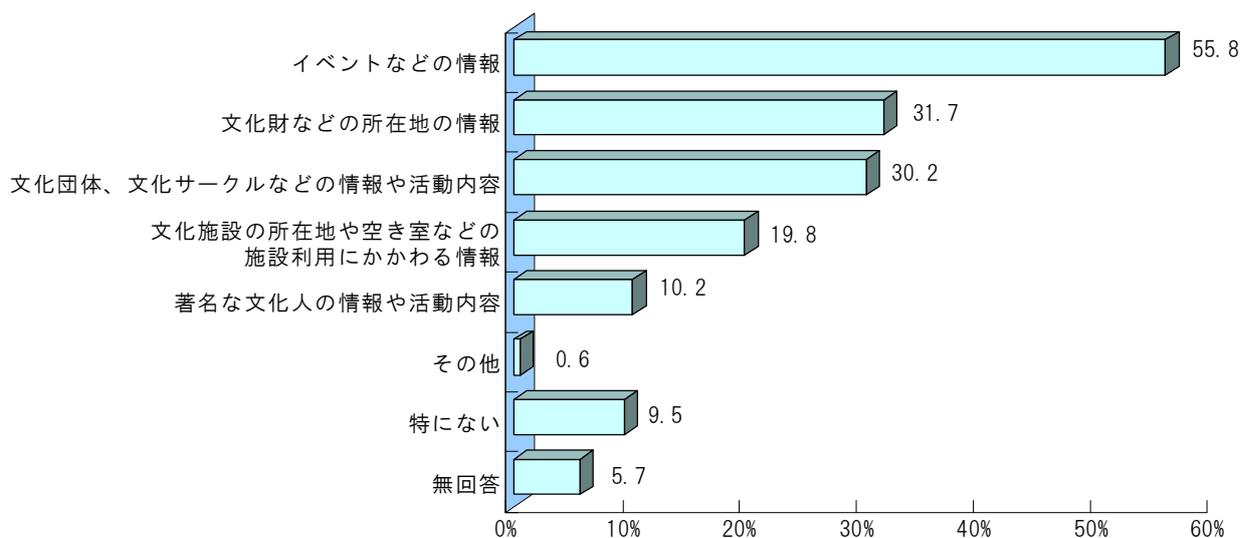
6 文化・芸術について

1 文化に関する情報

文化に関する知りたい情報を聞いた。「イベントなどの情報」(55.8%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで「文化財などの所在地の情報」(31.7%)、「文化団体、文化サークルなどの情報や活動内容」(30.2%)が約3割、「文化施設の所在地や空き室などの施設利用にかかわる情報」(19.8%)が約2割という順になっている。

図18

(複数回答) n = (1,447)



2 川崎市の文化事業、文化施設の認知状況

川崎市の文化事業、文化施設の認知状況を聞いた。文化事業では「かわさき市民まつり」(51.3%)が5割で最も高くなっている。次いで「音楽のまちコンサート」(36.0%)が3割台半ば、「KAWASAKIしんゆり映画祭」(24.0%)が2割台半ば、「かわさき市民第九コンサート」(17.1%)が1割台半ばという順になっている。

文化施設では「川崎市岡本太郎美術館」(62.3%)、「川崎市立日本民家園」(61.0%)が6割以上、「川崎市市民ミュージアム」(51.1%)が約5割、「ミュージア川崎シンフォニーホール」(50.0%)が5割という順になっている。

図19

(複数回答) n = (1,447)

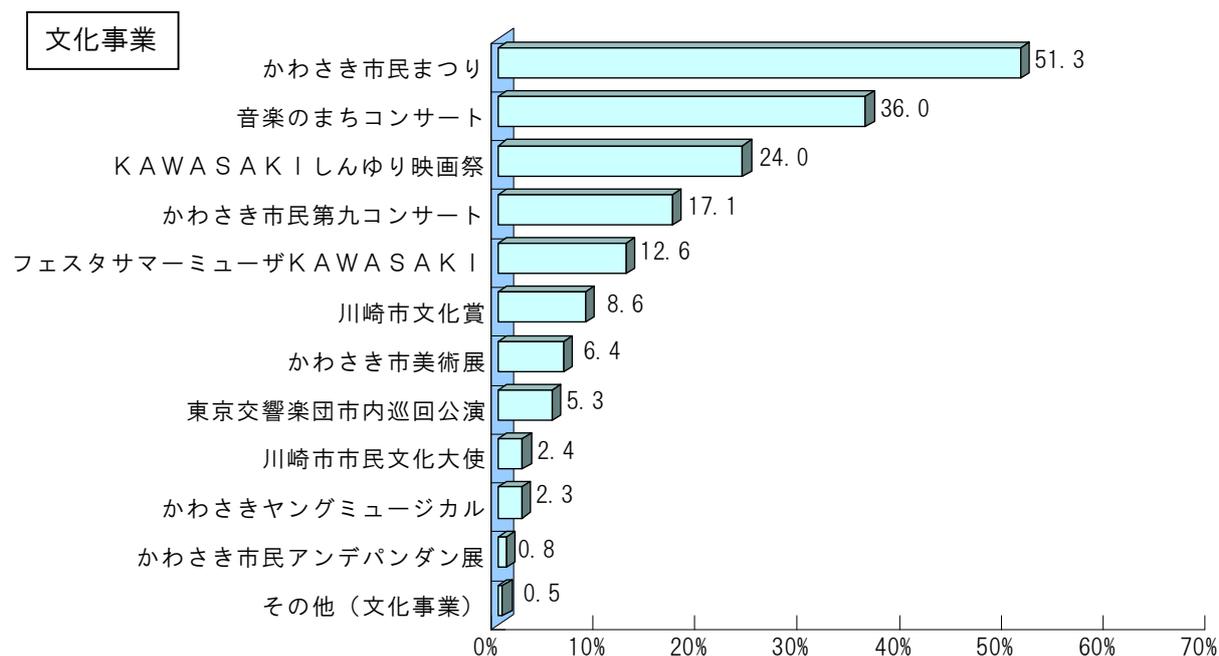
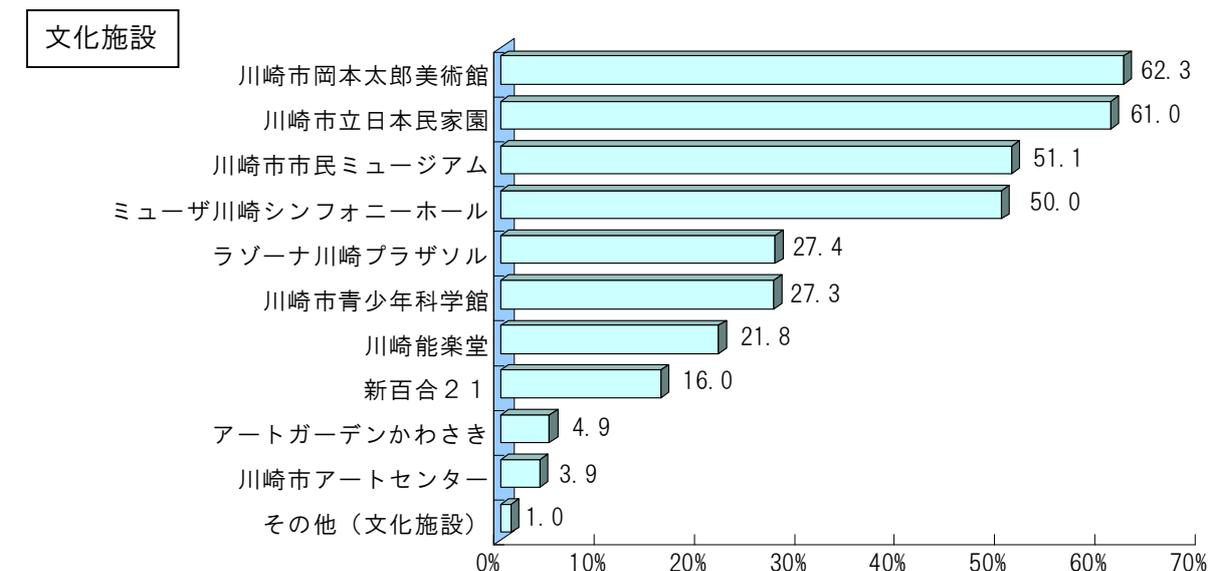


図20

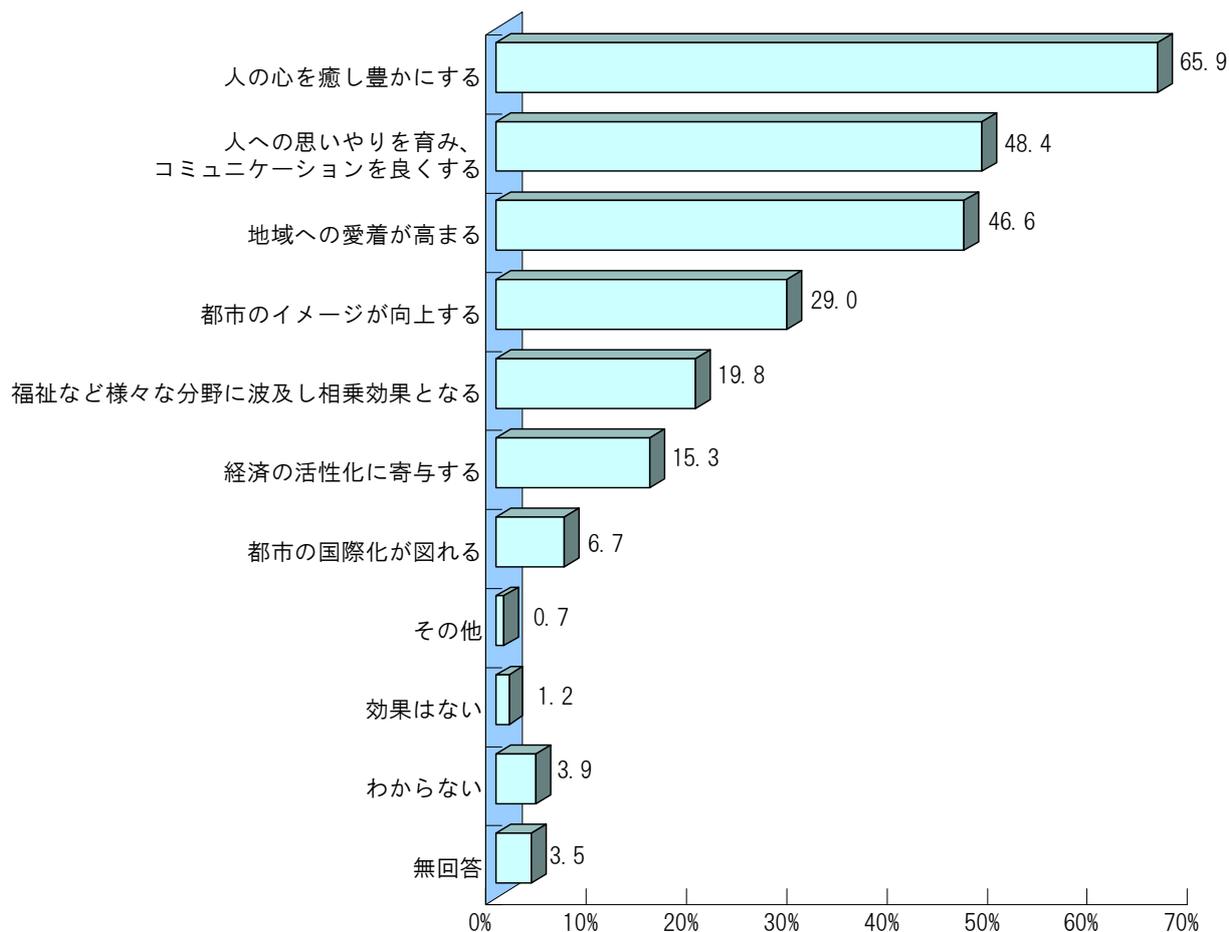
(複数回答) n = (1,447)



3 文化の振興により生活や社会にもたらされる効果について

文化を振興していくことにより、私たちの生活や社会にもたらされる効果について聞いた。「人の心を癒し豊かにする」(65.9%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで「人への思いやりを育み、コミュニケーションを良くする」(48.4%)、「地域への愛着が高まる」(46.6%)が4割台半ば、「都市のイメージが向上する」(29.0%)が約3割という順になっている。

図21 (複数回答) n = (1,447)



平成19年度第1回かわさき市民アンケート概要版

平成19年10月

発行 川崎市総務局市民情報室市民の声担当

〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2292